

各位

会社名 MediciNova, Inc
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岩城 裕一
(コード番号: 4875 JASDAQ)
問合せ先 東京事務所代表 副社長 松田 和子
兼最高医学責任者 (CMO)
電話: 03-3519-5010
E-Mail: infojapan@medicinova.com

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) に対する新規ワクチン開発の経過に関するお知らせ ～S1 タンパクに対する血清 IgG 抗体及び鼻腔粘膜における IgA 抗体産生の確認について～

2020年9月23日 米国 ラ・ホイヤ発 — メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) (以下「当社」といいます。) は、バイオコモ株式会社 (三重県三重郡菰野町菰野 1325 番地、代表取締役社長 福村正之) (以下「バイオコモ社」といいます。) 及び三重大学と共同で実施する新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) に対するワクチン開発において、マウスを用いた動物試験を経鼻投与で実施し、S1 タンパクに対する血清 IgG 抗体^{*1} 及び鼻腔粘膜における IgA 抗体^{*2} の産生を確認しましたので、お知らせいたします。

当該試験は、2020年9月1日公表の「新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) に対する新規ワクチン開発の経過に関するお知らせ」(参照) にて発表のとおり、血清中の IgG 産生ならびに IgA を主体とした粘膜免疫の誘導について確認をする動物試験を実施したものであります。その結果、BC-PIV/SARS-CoV-2 プロトタイプワクチンを経鼻投与したマウスの鼻腔洗浄液で、S1 抗原に対して高い IgA 抗体が産生されていることが確認されました。同時に、血清中の S1 に対する 強い IgG 抗体が誘導されていることも確認されました。血清中の SARS-CoV-2 の S1 に対する血清抗体の誘導に加えて、鼻腔粘膜で S1 に対する高い粘膜抗体が確認された今回の結果は、BC-PIV/SARS-CoV-2 の経鼻投与型ワクチンの開発をサポートするものと考えられます。

当社代表取締役社長兼 CEO の岩城裕一は、以下のようにコメントしています。

「BC-PIV/SARS-CoV-2 を経鼻投与されたマウスにおいて、IgG 抗体の産生が血清中に確認されただけでなく、粘膜免疫で重要な働きをする IgA 抗体の産生が確認されたことを非常に嬉しく思います。BC-PIV のテクノロジーを利用して、ワクチンが経鼻投与されることの科学的、技術的な裏付けがされ、勇気づけられました。これからもプログラムの進捗を適宜報告していきます。」

(参照) 2020年9月1日公表

「新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) に対する新規ワクチン開発の経過に関するお知らせ
～プロトタイプでの特異抗体誘導の確認について～」

<https://medicinova.jp/wp/wp-content/uploads/2020/09/09012020.pdf>

なお、現時点において今後の開発スケジュール及び費用の見通し等について確定しておらず、本件が当社の 2020年12月期の業績に与える影響についても現在のところ未定でございますが、業

續に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合、確定次第速やかに発表させていただきます。

以 上

* 1 IgG 抗体

ウイルスに感染した場合やワクチンにより誘導されて血液中に現れる免疫物質で、ウイルス感染やワクチン接種後から徐々に増加し、一定期間経過すると血中に確認される抗体です。将来、当該病原体に遭遇した時に感染防御に働く抗体です。

* 2 IgA 抗体

鼻粘膜、気道粘膜など外界と直接接触する粘膜組織において分泌される抗体で、局所でウイルスや細菌などの侵入を防ぎ、感染予防に役立つ免疫物質です。

メディシノバについて

メディシノバ (MediciNova, Inc.) は、有望な低分子化合物を様々な領域の疾患の治療薬として新規医薬品の開発を行う日米両株式市場に上場する製薬企業です。現在当社は、コロナウイルス感染に惹起される ARDS、進行型多発性硬化症、ALS、薬物依存 (メタンフェタミン依存、オピオイド依存など)、グリオブラストーマをはじめとする多様な疾患を適応とする MN-166 (イブジラスト) 及び NASH、肺線維症など線維症疾患を適応とする MN-001 (タイペルカスト) に経営資源を集中しております。ほかには MN-221 (ベドラドリン) 及び MN-029 (デニブリン) も当社のパイプラインの一部です。

当社詳細につきましては <https://medicinova.jp/> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート 300、エグゼクティブ・スクエア 4275 (電話 1-858-373-1500) です。

注意事項

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、MN-166、MN-001、MN-221 及び MN-029 の治療法の将来における開発や効果に関する記述などが含まれます。これらの「将来の見通しに関する記述」には、そこに記述され、示されたものとは大きく違う結果または事象に導く多数のリスクまたは不確定要素が含まれます。かかる要素としては、MN-166、MN-001、MN-221、または MN-029 を開発するための提携先または助成金を得る可能性、当社の事業または臨床開発を行うために十分な資金を調達する可能性、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、臨床開発及び商品化のリスク、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではない可能性、当局の承認取得の遅延または失敗の可能性、臨床治験の資金を第三者機関に頼ることによるリスク、商品候補に対する知的財産権に関するリスク及びかかる権利の防御・執行能力に関するリスク、製品候補の臨床治験または製造を依頼している第三者機関が当社の期待通りに履行できない可能性、さらに臨床治験の開始、患者登録、完了または解析、臨床治験計画の妥当性または実施に関連する重大な問題、規制当局への書類提出のタイミング、第三者機関との提携またはタイムリーな資金調達可否などに起因する遅延及び費用増大に加え、当社が米国証券取引委員会に提出した 2019 年 12 月期の Form10K 及びその後の 10Q、8K など届出書に記載されているものも含め、しかしそれに限定されないその他のリスクや不確定要素があります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。